

公 共

設 計 図 書

(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

2024 年度施行

知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事

室蘭市

特 記 仕 様 書

特記仕様書（北海道室蘭市）

以下の文章において、発注者を「甲」とし、受注者を「乙」とする。

(01)（共通事項）

工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事		
工事施工場所	室蘭市	知利別町	3丁目
工事完成期間	着手の日より	180	日間

「適用」

本工事は、北海道建設部土木工事共通仕様書を適用する。

「土木工事積算基準等」

- 1 本設計図書は北海道建設部が制定した「土木関係工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」、「土木工事数量算出要領」及び「漁港関係工事数量算出要領」に基づき作成している。
- 2 「土木工事積算基準」において定められている諸基準を、次のとおり扱っている。
 - (1)機械施工と人力施工等、施工方法の区分は設計図面等から判断しているが、機械施工が困難である場合を除き、機械施工としている。
 - (2)各基準において標準工法や標準機種が定められている場合、別途特記仕様書等で明示している場合を除き、標準工法・機種で積算している。
 - (3)上記(1)(2)については請負人の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等により、これにより難しい場合は必要に応じて設計変更する。
- 3 「土木工事工種体系化の手引き」において定められている事項については、次のとおり扱う。

規格・摘要欄に明示した内容に変更が生じた場合は、必要に応じて設計変更する。

01-01「概数」

- 1 概数として扱う数量一覧表に示した数量は概数であり、必要に応じて設計変更するものとする。

なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。
- 2 この工事においては、設計変更図書の作成(設計変更図面の作成及び工事数量の算出)を請負人に行わせることがある。
- 3 概数として扱っている事項の施工に当たっては、施工前に工事監督員と協議すること。

なお、数量の確認ができない場合を除き、施工前に数量を確定すること。
- 4 概数として扱う数量一覧表で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として扱うことがある。

01-02「非契約数量」

工事数量総括表の摘要欄に(参)と記して示した数量は、契約事項とならないものの数量であり、請負人の任意施工を拘束するものではない。ただし、概数の確定や現場・設計図書の不一致等が生じた場合は、必要に応じて設計変更する。

01-03「参考図」

参考図と朱書きして示した図面は、発注者が想定した工法・材料等を記したものであり、これに示されている事項については、請負人の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等により、これにより難しい場合は必要に応じて設計変更する。

なお、設計上過大な計画に対して変更するものでないことに留意すること。

01-04「積算情報」

本工事の予定価格算出の基礎となる積算基準日及び積算工期は、下記のとおりである。

単価適用年月 2024年4月

01-05 本工事の通常及び非常執行体制を工事着手前に組み、施工計画書に記載のうえ、監督員に提出し承諾を得ること。また、この執行体制を一覧表として現場事務所内に掲示し、工事関係者全員に周知させ、体制を確立しておくこと。

01-06 施工者は、本工事施工にあたって監督員との連絡を密にし、付近住民に対してあらかじめ工事の概要・工程等を説明し、意向を十分考慮しなければならない。なお、交通規制を伴う場合は、歩行者の通行を妨げないように誘導員を配置し、施行状況の広報に努めること。

01-07 現場代理人は特別な理由がない限り常駐するものとし、やむなく現場を離れるときは、その理由を監督員に連絡し、承認を得て代理となる者を配置すること。また、現場事務所には原則として電話を設置するか、携帯電話で常に連絡をとれる体制にしておくこと。

01-08 工事着手前には、必ず民地境界杭の有無を調査し、土地所有者に確認を得ること。また、工事施工に支障をきたし、やむを得ず撤去しなければならない杭がある場合は、土地所有者の承諾を得て、工事完成後に杭を復元すること。民地境界杭の確認及び承諾については、報告書を作成し監督員へ提出すること。

01-09 工事施工中の住民からの苦情やその他の問題が生じた場合は、速やかに対応する処置を施し、その旨を監督員に報告すること。また、継続事態については今後の対策を検討したうえ、書面をもって監督員に報告すること。

01-10 工事施工中の家屋の沈下及び損傷については、設計図書により適正に処理されていると認められる場合以外の事由により発生した事故及び苦情については、全て請負人の責任とし、その対応策を実施するものとする。なお、請負人の判断により家屋調査を実施する場合は、工事着手前に調査を詳細に行い、報告書を作成して監督員に提出すること。請負人の判断により家屋調査を実施する場合は、請負人が調査費を負担することとし、設計変更の対象としない。

- 01-11 労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、本工事の内容に応じた安全訓練等について、下記の項目から選択し、全ての作業員(交通誘導員含む)を対象に毎月1回半日以上頻度で実施しなければならない。なお、施工計画書に具体的な計画を記載のうえ、監督員に提出し承諾を得ること。
- ① 安全活動のビデオ視聴覚資料による教育
 - ② 安全関係法令等の周知
 - ③ 本工事内容の周知徹底
 - ④ 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
 - ⑤ 本工事における災害対策訓練
 - ⑥ 本工事現場で予想される事故対応
 - ⑦ その他、安全教育として必要な事項
- 01-12 本工事で発生する産業廃棄物は、最終処理業者としての許可を取得した産業廃棄物最終処分場に搬入し、適切に処理すること。また、産業廃棄物の収集・運搬を下請業者に委託する場合は、収集運搬業としての許可を受けた業者でなければならない。
- 01-13 本工事で発生する建設副産物のうち、アスコン塊・コンクリート塊については有効利用を計るために、アスファルト舗装再生利用ガイドライン(北海道土木部)・コンクリート再生骨材暫定品質基準(北海道建設部)に従って、中間処理業者としての許可を取得した再生施設に搬入し、適切に処理すること。
- 01-14 本工事で発生する産業廃棄物が道内の最終処分場に直接搬入される場合または、中間処理場に搬入される場合でも、減量化・リサイクル等により残さ等が発生し、最終処分場に搬入される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。
- 01-15 その他の建設副産物については、監督員の承認に基づき適切に処理すること。
- 01-16 土砂・産業廃棄物・建設副産物及び資材等の運搬車両は、荷台に工夫を施す等して、過積載の防止に努めること。また、運搬土砂・資材等の飛散転落防止のためシート養生を徹底し、一般公道路面の汚損防止に万全を期すこと。
- 01-17 本工事で発生する建設発生土、建設副産物等の搬出量調査について、施工計画書の提出時に「再生資源利用促進計画書」(様式1・イ、様式2・ロ)を添付すること。また、完成届の提出時には「再生資源利用促進実施書」(様式1、2)とともに、その内容を入力したCDまたはFDを提出すること。
- 01-18 本工事において打設するコンクリート及びコンクリート2次製品を使用する場合は、「コンクリートの耐久性向上(土木構造物)特記仕様書」に基づいて、工事施工時におけるコンクリート中の塩化物総量及びアルカリ骨材反応を測定し、監督員に報告書を提出するものとする。また、コンクリート2次製品は熔融スラグ使用製品を原則とするが、その使用にあたっては監督員と別途打合せすること。
- 01-19 本工事で使用する石材は、再生骨材の使用を原則とするが、その使用にあたっては監督員と別途打合せをすること。
- 01-20 本工事の施工において、不可視部は監督員の立会確認で承認を得たうえ施工を継続すること。確認手段、箇所についてはその都度、監督員と協議し決定することとし、書面で提出することとする。

01-21 本工事および委託において、施工前にあらかじめ下記のホームページ(北海道建設部建設管理課)で、成績評定基準および「施工プロセス」のチェックリストの評定項目を確認し施工すること。

工事施行成績評定要領	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/gkn/kouji/koujiseiseki/kozisei.htm
委託施行成績評定要領	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/gkn/itaku/itakuseiseki/itakusei.htm

01-22 本工事に施工において、消防隊の通行またはその他の消火活動に支障を及ぼすおそれのある場合(一般車輛の通行に支障をきたす幅員減少、片側交互、通行止等)は、下記のホームページ(室蘭市)より「道路工事等行為実施届出書」をダウンロードし、必要事項を記入のおよび添付のうえ、当該工事箇所の所管消防署へ着手前に必ず提出することとする。届出書の作成および提出について不明な点は監督員と協議すること。

室蘭市HP(消防本部警防課)	http://www.city.muroran.lg.jp/main/common/syoubokeibou.html
----------------	---

01-23 法定外の労災保険の付保
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

(02) (適用する仕様書)

02-01 特記仕様書、設計図書及び北海道建設部土木工事共通仕様書に記載のない事項については、下表の仕様書によること。
なお、各仕様書は最新版のもとし、仕様書間で相違がある場合の取扱は、工事監督員の指示によるものとする。

工種名	適用仕様書	適用事項
該当工種	道路事業設計要領	該当事項
該当工種	北海道開発局 道路設計要領	該当事項

以上の仕様書間で相違がある場合は、工事監督員の指示によるものとする。

02-02 上記02-01に示す各共通仕様書に記載されていない事項については、各仕様書に関係する各要綱、示方書及び指針等に準拠することとその適用にあたっては、その都度工事監督員と協議すること。施工にあたっては疑義、不明な点があれば、同様に協議すること。

(03) (標準図)

03-01 標準図は、標準的な施工図、又は出来形を示すものであり、現地の現状等に応じて乙は十分照査のうえ実施するものとする。変更の必要が生じた場合は、甲乙協議のうえ設計変更を行う。

(04) (施工協議)

04-01 1日未満で完了する作業の積算について

- 1 「1日未満で完了する作業の積算」(以下、「1日未満積算基準」と言う。)は、変更積算のみに適用する。
- 2 受注者は、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準、土木工事標準単価と乖離があった場合に、「1日未満積算基準」の適用について協議の発議を行うことができる。
- 3 同一作業員の作業が他職種・細別の作業と組合せて1日作業となる場合には、「1日未満積算基準」は適用しない。
- 4 受注者は、協議に当って、「1日未満積算基準」に該当することを示す書面その他協議に必要となる根拠資料(日報、実際の費用を示す資料等)を監督員に提出すること。実際の費用を示す資料(契約書、請求書等)により、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準、土木工事標準単価との乖離が確認できない場合には、「1日未満積算基準」は適用しない。
- 5 通年の維持管理業務など人工精算を前提として積算する場合等や通常の積算方法によることが適当と判断される場合には、「1日未満積算基準」を適用しない。

(05) (工程関係)

05-01 工期設定について

工期には、施工に必要な実日数(実働日数)以外に以下の事項を見込んでいる。

①準備期間	40 日間
②後片付け期間	20 日間
③雨休率(実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数 実働日数×係数)	1.65
④余裕ある工期設定の余裕期間 工期始期日から令和 年 月 日	日間
⑤ゼロ市工事のため着手出来ない期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日	日間

05-02 工期工程の共有について

受注者は、現場着手前(準備期間内)に設計図書等を踏まえた工事工程表(クリティカルパスを含む)を作成し、監督員と共有すること。

工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者(「発注者」又は「受注者」)を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

- ①受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合
- ②著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生した場合
- ③工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合
- ④資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合
- ⑤その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

05-03 週休2日工事の実施について

1. 本工事は、「受注者希望方式による週休2日工事」の対象工事である。
2. 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
3. 受注者は、工事着手までに現場閉所による週休2日の実施の意向について書面で監督員と協議を行い、協議が成立した場合のみ週休2日による施工を行うことができる。
4. 受注者が週休2日工事を希望しない場合、監督員との事前協議が不成立となった場合、週休2日の達成状況が基準に満たない場合は通常工事扱いとする。
5. 工事費の補正は工事完了後に週休2日工事の達成状況に応じて設計変更により行う為、入札に当たっては週休2日工事による補正を含めない積算により応札すること。
6. 週休2日とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、週休2日(4週8休)以上の現場閉所を行うことをいう。
対象期間は、契約期間内において工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間及び夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間(受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など)は対象期間に含まれない。
7. 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
8. 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
 - 1) 受注者は、工事着手前に休日等取得実績調書(計画)を発注者へ提出する。
 - 2) 受注者は、現場施工完了後に休日等取得実績調書(実績)を発注者へ提出する。
 - 3) 受注者が必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。
9. 週休2日による施工を希望した工事は、閉所状況に応じた補正係数を、労務費(機械設備工事を除く)、機械経費(賃料)、市場単価(下水道工事(管路)を含む)、共通仮設費率、現場管理費率に乗じる設計変更を行う。なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については補正の対象としない。
 - 1) 現場の閉所状況
4週8休以上
現場閉所率が28.5%(8日/28日)以上の場合
 - 2) 補正方法
現場閉所の達成状況を確認後、各経費を補正し、請負代金額を変更する。なお、4週8休に満たないもの及び、工事着手前に週休2日に取組むことについて講義が整わなかったもの(受注者が週休2日の取組を希望しないものを含む)については、変更の対象としない。
10. 虚偽報告の疑いや不正通報があった場合、受注者へのヒアリングや追加書類の提出を求める。なお、不正が確認された場合は市の処分規定の「不正又は不誠実な行為」に該当する。

05-04 関連工事として知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(上部工)工事がある。
各工事担当者と監督員と協議を行い、適切な工程管理を行うこと。

05-05 令和6年11月5日より上部工工事のPC桁架設を実施するのでそれまでにA1橋台、A2橋台及び護岸工(先施工範囲)の工事を完了させること。

(06) (用地関係)
該当なし

(07) (環境対策関係)

07-01 残土等の搬出による公道等の路面汚損防止のための措置を講ずること。

07-02 排出ガス対策型建設機械の使用について

- 1) 当該工事において以下に示す建設機械(規格)を使用する場合は、現場作業環境の改善、大気環境の保全を目的として排出「ガス対策型建設機械」(以下、排対機械という。)を使用することを原則とする。
- 2) 排対機械を使用できない場合は、排出ガス浄化装置を装着した建設機械(以下、排対機械を含め「排対機械等」という。)を使用することで排対機械と同等と見なす。
- 3) ただし、リース会社に在庫が無い、自社持ち機械を使用する、浄化装置を装着できない等の理由により排対機械等を使用できない場合は、理由書(別添理由書 例を参照)を工事監督員に提出すること。
- 4) 施工計画書には、排対機械等を使用するか、非排対機械を使用するかを使用機械一覧に明記すること。
- 5) 施工現場において排対機械等の使用を確認(指定ラベル)できる写真撮影を行い、工事監督員に提出すること。
- 6) 排対機械等を使用できなかった場合については、設計変更の対象とする。

機 種	単 位	規 格
ブルドーザ(普通)	t	3.6.9.11.15.18.21.32
ブルドーザ(湿地)	t	3.5.7.10.13.16.20.28
ブルドーザ(超湿地)	t	4.10.18
ブルドーザ(超々湿地)	t	4.10
ブルドーザ(リッパ装置付)	t	18.21.32
小型バックホウ(クローラ型)	m ³	0.044,0.055,0.080,0.110,0.130,0.160
小型バックホウ(クローラ型(超低騒音型))	m ³	0.044,0.055,0.080,0.110,0.130,0.160
超小旋回バックホウ(クローラ型・超小旋回型)	m ³	0.080,0.110,0.220
超小旋回バックホウ(クローラ型(超低騒音型)・超小旋回型)	m ³	0.055,0.080,0.110
小型バックホウ(クローラ型・クレーン機能付き)	m ³	0.11,0.13,0.16,0.22
小型バックホウ(クローラ型(超低騒音型)クレーン機能付き)	m ³	0.11,0.13~0.14
小型バックホウ(クローラ型・超小旋回型・クレーン機能付き)	m ³	0.22
小型バックホウ(クローラ型(超低騒音型)・超小旋回型・クレーン機能付き)	m ³	0.11,0.16
バックホウ(クローラ型)	m ³	0.28,0.45,0.50,0.60,0.80,1.00,1.10,1.40,1.60,1.80~2.10
バックホウ(クローラ型(後方超小旋回型))	m ³	0.28,0.45,0.50,0.80
バックホウ(クローラ型(超小旋回型))	m ³	0.28,0.45
バックホウ(クローラ型(超低騒音型))	m ³	0.28,0.50,0.80
バックホウ(クローラ型(クレーン機能付))	m ³	0.28,0.45,0.50,0.80
バックホウ(クローラ型(超低騒音型)クレーン機能付き)	m ³	0.08
バックホウ(クローラ型(後方超小旋回クレーン機能付))	m ³	0.28,0.45,0.50,0.80
バックホウ(クローラ型(超小旋回クレーン機能付))	m ³	0.28,0.45
バックホウ(ホイール型)	m ³	0.28,0.45
超ロングアームバックホウ(クローラ型)	m ³	0.40
無線式バックホウ(クローラ型)	m ³	0.8、1.1、1.4
トラクタショベル(ホイール型)	m ³	0.30,0.34~0.35,0.4,0.5,0.6,0.8,0.9~1.0,1.2,1.3~1.4,1.5~1.7,1.9~2.1,2.5~2.9,3.1~3.3,3.4~3.5,4.0,4.5,5.0
トラクタショベル(ホイール型(超低騒音型))	m ³	0.3,0.4,0.5,0.6,1.3~1.4
クローラークレーン(油圧駆動式ウインチ・ラフスジ型)	t吊	30~35,40~45,50~55,60~65,80,90,100,120,150,200,300,650
クローラークレーン(油圧伸縮ジブ型)	t吊	4.9,35,55

ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)	t吊	4.9,7,10,16,20,22,25,35,45,50~51,70
杭打ち用ウォータージェット(エンジン式)	l/min	325,895
油圧式杭圧入引抜機(エンジン式ユニット)	kN	294.2、735.5~882.6、980.7~1471.0、980.7~1471.0(広幅)
パイプロハンマ(油圧式(可変高周波型))	kN	(ピストン式)156.9,245.2,313.8 (振り子式)284.4,441.3,473.7
ロードローラ(マカダム)	t	10~12
タイヤローラ	t	3~4、8~20
タイヤローラ(振動タイヤローラ型)	t	9
振動ローラ(搭乗式タンデム型)	t	1.2~1.5,2.4~2.8,3~5.6~7.5,8~10,11~12.7(水平振動式)
振動ローラ(搭乗式コンバインド型(超低騒音型))	t	1.2~1.5,2.4~2.6,3~4.5~7.8~10,11~12
アスファルトフィニッシャー(ホイール型)	m	1.4~3.0,2.0~4.5,2.4~6.0,3.0~8.5
アスファルトフィニッシャー(クローラ型)	m	1.4~2.5,1.7~3.1,2.0~4.5,2.4~6.0,2.5~8.0,3.0~12.0
空気圧縮機(可搬式スクリュウエンジン掛)	l/min	1.4,2.0,2.5,3.5~3.7,5.0,7.5~7.8,10.5~11.0,14.2,18.0~19.0,20.0~21.0
空気圧縮機(可搬式スクリュウエンジン掛(超低騒音型))	l/min	2.0,7.5
発動発電機(ディーゼルエンジン駆動)	KVA	15、20、25、35、45、60、125、300
発動発電機(ディーゼルエンジン駆動(超低騒音型))	KVA	15、20、25、35、45、60、75、100、125、150、300
モーターグレーダ(油圧式)	m	2.8,3.1,3.4,3.7,4.0
除雪グレーダ	m	4.0,3.7~4.3(高速整正型)
ロー刈除雪機	m	1.0~1.5,1.5~1.8,2.2~2.6,2.6
不陸地運搬車	t	1.0,1.5,2.0,2.5,3.3~3.5,3.8,4.0~5.0,6.3~7.0,7.0,8.0~11.0,10.0,12.5~15.0
電気溶接機(ディーゼルエンジン付き)	A	200,300,400,500
※ドリルジャンボ(クローラ式)	kg	27°-M1バケット:100、27°-M2バケット:150、27°-M2バケット:170超級
※ドリルジャンボ(ホイール式)	kg	27°-M1バケット:100、27°-M2バケット:150、27°-M2バケット:170超級、37°-M2バケット:150、37°-M2バケット:170超級
※バックホウ(クローラ型)	m ³	0.28~0.34,0.45,0.50,0.8
※トラクタショベル(サイドダンプ・クローラ型)	m ³	1.5~1.6
※トラクタショベル(サイドダンプ・ホイール型)	m ³	2.3,3.0
※コンクリート吹付機(湿式ホイール型)	m ³	6~20
※コンクリート吹付機(湿式ホイール型・コンプレッサ搭載型)	m ³	8~22
※コンクリート吹付機(湿式ホイール型・エレクトラ型)	m ³	6~22
※ダンプトラック(坑内用ディーゼル)	t	20,23~25,27
※ダンプトラック(コンテナ着脱式)	t	25,33

- 注) 1. ホイールローダ(トラクタショベル)は、除雪用を除く。
2. 小型バックホウ及びバックホウの規格は山積の標準バケット容量である。
3. ※印の付いている機械は、トンネル工事前排出ガス対策型。

07-03 排出ガス対策型建設機械を使用できない場合について

- ① 主な機種(ブルドーザ、バックホウ、トラクターショベル、ホイールクレーン、油圧式杭圧入引抜機、油圧式パイプハンマ杭打機、ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ、空気圧縮機、発動発電機、除雪グレーダー等)
- ② 排対機械等を使用できない場合は、下記「理由」により理由書(理由書例を参照)を工事監督員に提出すること。なお、このことにより設計変更の対象とする。
- ③ 施工計画書に排対機械等を使用するか、非排対機械を使用するかを下記の使用機械一覧にて添付すること。

(理由書例) A-4
排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書
平成 年 月 日
工事監督員 様 (請負人名) 印

工事名	
現場代理人名	印
機 械 名	規格

当該工事で使用できない理由
(例) 自社持機を使用し、排出ガス浄化装置を装着するには資金不足のため。

今後の使用方針
(例) 資金調達が出来た場合、排出ガス浄化装置を装着する予定。(1年後を予定)

機 械 名	規格
-------	----

当該工事で使用できない理由
(例) 自社持機に対応する排出ガス浄化装置メーカーが申請にないため。

今後の使用方針
(例) 自社持機に対応する排出ガス浄化装置メーカーが申請に追加されたい、装着する予定。

(施工計画書例) A-4
使用 機 械 一 覧

機 種	規 格	台 数	使 用 工 種	排出ガス対策	その他
			(配入例)	(配入例)	
			土砂掘削	排対	
			岩盤掘削	浄化装置付	
			路面整形	非排対	
			開墾工前固め		

(08) (安全対策関係)

08-01 第三者(歩行者等)が工事作業範囲に立ち入らないようにバリケード等を設置し、事故防止に努めること。

08-02 当該工事区間全域には水道管やケーブル等が埋設されており、施工に当たっては、試掘調査等を関係機関の立会のもとに行い、埋設物に損傷を与えないように施工すること。なお、掘削は人力の補助を伴う機械施工を予定している。

08-03 当該工事は昼間片側交互通行を予定している。全工種にわたり作業時間中は交通誘導員を1名の配置を予定し、工種別毎の作業量により算出して計上している。関係機関との協議による員数の増減、配置方法の変更等及び着手時の工事監督員との協議において必要と判断された場合は別途協議する。
また、作業時間外は両側通行とし、一般車両の通行に支障にならないよう安全対策を講ずること。
なお、交通誘導員の配置計画は施工計画書に記載するものとする。

08-04 交通誘導員の検定合格者配置について

- 1) 本工事は市街地に係る工事現場であるため、交通誘導員は警備業法に定める警備員であって、下表に示す交通誘導警備業務に係る1級又は2級検定合格者を配置すること。なお、やむを得ず検定合格警備員を配置できない場合は、工事監督員と協議すること。

資 格	確 認 資 料
交通誘導警備業務に係る1級又は2級検定合格警備員	交通誘導警備業務に係る1級又は2級検定合格証明書(写し)

- 2) 交通誘導員の配置については、交通誘導警備業務を行う場所毎に、1級又は2級検定合格警備員を必ず1人以上配置すること。
 3) 警備員名簿の写し、交通誘導警備検定合格証(1級又は2級)の写しを施工計画書に添付すること。
 4) 市街地とは、人口集中地区(DID地区)およびこれに準ずる地区をいう。
 DID地区とは、総務省統計局国勢調査による地区別人口密度が4,000人/km²以上で、その全体が5,000人以上となっている地域をいう。

(09) (工事用道路関係)

09-01 運搬路に使用した既設道路に補修の必要が生じた場合は、その補修方法や費用については別途協議とする。

(11) (建設副産物関係)

11-01 当該工事により予定外の廃棄物が発生する場合は、工事監督員に報告し適正に処理すること。なお、そのための費用は別途甲乙協議する。

11-02 当工事から発生する廃プラスチックは、下記の間処理施設に搬入するものとし、運搬距離に 17.5 km を見込んでいる。
 なお、請負者の都合で搬入先を変更する場合は、工事監督員の承諾を得ること。

受入先	所在地	電話番号	許可番号	備考
(株)アール・アンド・イー	登別市富浦町223番1	0143-80-2233	00140098348号	

11-03 当工事から発生する残土は、原則下記の土砂受入地に搬入するものとし、運搬距離 6.7 km を見込んでいる。
 なお、これにより難しい場合は、工事監督員と協議を行い承諾を得ること。

受入先	所在地	電話番号	備 考
(株)ノースインコンダクト	室蘭市港北町5丁目138番1号	0143-43-3182	

11-04 建設リサイクル法に係る対象工事について

- 1) この工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号、以下「建設リサイクル法」という)に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
- 3) 分別解体等によって発生する特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、発生木材)は、下表のとおり再資源化等を実施すること。

また、工事状況・再資源化等施設の状況等により、下表により難しい場合は、その理由書並びに必要な資料を提出の上、変更等について工事監督員と協議すること。

特定建設資材廃棄物	搬出数量	再資源化施設名	所在地
コンクリート塊	338.75 t	㈱草塩建設	登別市川上町304番1、304番4
アスファルト塊	36.80 t	イブリアスコン共同企業体	登別市大和町1丁目8番7、8番19
発生木材(伐根・伐木除く)	0.00 t		

※ 上記の表については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。
管内再資源化等施設名一覧表(下表)を参考とすること。

別紙

再資源施設の許可業者一覧(参考)

市町村名	会社名	住所	電話番号	コンクリート	アスファルト	木材
伊達市(田大滝村地区)	横山重機建設㈱	伊達市大滝区上野45番3、47番1	0142-25-1849	○	○	
室蘭市	㈱博信建設工業	室蘭市祝津町4丁目16番8	0143-43-6515	○	○	
	南湊工業	室蘭市神代町118番地8	0143-83-6588	○		
登別市	㈱ビケンワーク	登別市常盤町6丁目24番1、25番1	0143-88-0033	○	○	○
	ノースジャパン研機㈱	登別市青葉町51番1	0143-85-8877	○	○	
	富士建設㈱(イブリアスコン共同企業体)	登別市大和町1丁目8番7、8番19	0143-85-8887		○	
	㈱アール・アンド・イー	登別市富浦町223番1 他	0143-80-2233	○	○	○
	㈱さんばい	登別市千歳町172番 他	0143-85-9278			○
	㈱草塩建設	登別市川上町304番1、304番4	0143-85-2971	○		
	㈱ヒロオ産業	登別市大和町2丁目23番3	0143-45-7570	○		
	㈱江尻建設	登別市大和町2丁目9番2、16番	0143-83-5123	○		
白老町	㈱アビーロード	白老郡白老町字竹浦697番2	0144-87-3547	○	○	
	㈱アビーロード	白老郡白老町字竹浦427番4.5	0144-87-3547			○
	共信建設㈱	白老郡白老町字社台374番6、375番30、573番	0144-85-2211	○	○	○
	㈱ケイホク	白老郡白老町字竹浦510番1	0144-87-2311	○		
				*R6.4.5		
※ ○印が受け入れ品目						

11-05 北海道循環資源利用促進税(以下、「循環税」という)について

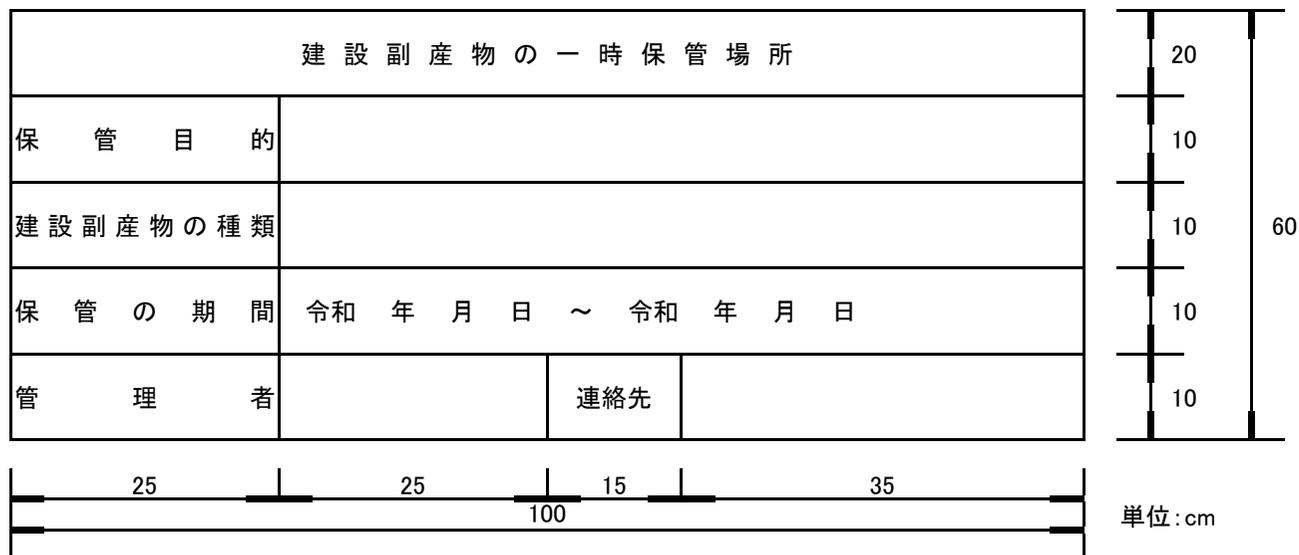
- ・当該工事で発生する産業廃棄物が道内の最終処分場に直接搬入される場合または、中間処理場に搬入される場合でも、減量化・リサイクル等により残さ等が発生し、最終処分場に搬入される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。
- ・当該工事では循環税相当額を見込んでいる。

11-06 一時保管について

本工事において発生する廃棄物は、現場内で再利用するものを除き早期に廃棄物処理施設へ搬入することが望ましいが、一定期間の保管が必要なものについては、廃棄物処理法に定める以下の保管基準を遵守しなければならない。

- ・ 周囲に囲いを設けること。なお、廃棄物の荷重がかかる場合には、その囲いを構造耐力上安全なものとする。
- ・ 必要な事項を表示した掲示板が設けられていること。掲示板は縦及び横それぞれ60cm以上とする。(下記を参考)
- ・ 屋外で容器に入れずには関する場合、廃棄物が囲いに接しない場合は、囲いの下端から勾配50%以下とすること。廃棄物が囲いに接する場合には、囲いの内側2mは囲いの高さより50cm以下、2m以上内側は勾配50%以下とすること。その他、廃棄物の飛散、流出、地下への浸透、悪臭の発生がないよう必要な措置を講じること。
- ・ 粉塵が発生するおそれのあるものについては、シートがけ、散水等を行い粉塵防止の措置を講じること。
- ・ 作業員等の関係者に保管方法を周知徹底すること。
- ・ 上記によらない事項は監督員と協議すること。

(参考)



一時保管看板の記載例

(1)保管目的

令和△△年度施工予定の□□工事で(ドレーン材料、盛土材料、基礎材料、埋戻し材料)に再利用するため

(2)管理者

室蘭市役所土木課を記載する。

(3)連絡先

電話 0143-25-2585

※文字は黒字、下地は白色で鮮明な字体であることとし、材料は十分な強度を有するものであること。

11-07 施工計画書に記載する建設廃棄物における適正処理計画の項目は、次のとおりとする。

(1)工事概要

ア 工事名称、工事場所、工期

イ 発注者名、設計者名、作業所長名、廃棄物処理責任者名

ウ 工事数量

エ 解体工事、基礎工事等の請負業者名

(2)建設廃棄物の種類・発生量とその分別、保管、収集運搬、再生利用、中間処理、最終処分の方法等

(3)再生利用する廃棄物の種類、再生利用量、利用用途、利用のために中間処理が必要な場合はその方法、施工方法等

(4)他の排出事業者が排出する廃棄物を建設資材として再利用する場合には、再生利用個別指定の申請等の法的手続きの方法

(5)委託処理

ア 収集運搬業者(積替え・保管を含む。)の許可番号、事業の範囲、許可期限等

イ 中間処理業者、最終処分業者の許可番号、事業の範囲、許可期限等

ウ 処分施設の現地確認方法

(6)その他必要事項

(7)添付書類

ア 産業廃棄物処理委託契約書(写し)

イ 処理業者の許可証(写し)

11-08 再生資源利用計画について

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

11-09 再生資源利用促進計画について

受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

11-10 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理方法について

- ・ 舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。回収された排水については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については設計変更の対象とすることができるものとする。
- ・ 「適正に処理」とは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理するために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供することが必要である。
- ・ 受注者は、排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、工事監督員から請求があった場合は提示しなければならない。

(10) （仮設備関係）

10-01 仮橋工は別添図を標準とする。

10-02 工事用電力は発動発電機を予定している。

10-03 現道付近の掘削前に、自転車や歩行者等の転落が想定される場合は、転落防止の措置を行うこと。

10-04 現場環境改善について

- 1) 現場環境改善は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施することを目的とする。
- 2) 現場環境改善の実施内容については、下記のとおりとする。
 - ① 下記の別表-1より、実施する項目を選択する。
 - ② 実施内容は、仮設備関係、営繕関係、安全関係、地域連携のうち5項目を基本とし、具体的な実施内容・実施時期については、施工計画書を提出する際に協議する。

[別表-1]

費 目	実施する項目(率計上分)
仮設費関係	1、用水・電力等の供給設備の充実 2、緑化・花壇 3、ライトアップ施設 4、見学路及び椅子の設置 5、昇降設備の充実 6、環境負荷の低減
営繕関係	1、現場事務所・監督員詰所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2、労働者宿舍の快適化 3、デザインボックス(交通誘導警備員待機室)の快適化 4、現場休憩室の快適化 5、健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1、工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2、盗難防止対策(警報機等) 3、避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1、完成予想図 2、工法説明図 3、工事工程表 4、デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5、見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6、見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7、パンフレット・工法説明ビデオ 8、地域対策費等(地域行事等の経費を含む) 9、社会貢献

- 3) 工事完了時には、現場環境改善の実施状況がわかる写真等の資料を提出する。

(12) (工事支障物等関係)

12-01 本工事における地下埋設物等の支障物件については、現地調査及び各管理者との連絡調整を十分に行い、その移設もしくは保全を図り、工事の進捗に支障のないよう万全を期すこと。

支障物件	管理者	位置	協議	移設時期	工事方法	立会
北電柱	北海道電力	協議により決定	未	協議により決定	協議により決定	要
N T T 柱	N T T	協議により決定	未	協議により決定	協議により決定	要
N T T ケーブル	N T T	協議により決定	未	協議により決定	協議により決定	要
ガス管	室蘭ガス	協議により決定	未	協議により決定	協議により決定	要
下水道	室蘭市水道部	協議により決定	未	協議により決定	協議により決定	要
水道管	室蘭市水道部	協議により決定	未	協議により決定	協議により決定	要

12-02 当該工事区間においてガス、上水道、北電柱等の占用工事が行われる。各占用事業者とは十分に調整し、相互の工程に支障のないように努めること。

12-03 工事着手前に地下埋設物等の支障物件について調査し工事監督員に報告すること。なお、工事に支障がある場合は施工方法、工程等について別途甲乙協議する。

(13) (排水処理・汚水処理関係)

13-01 請負者の責任において当該工事区域から濁水を流出させないこと。やむを得ず濁水の流出が想定される場合は別途甲乙協議する。

(14) (薬液注入関係)
該当なし

(15) (地質土質関係)
該当なし

(16) (工事用資機材、土砂等の保管・仮置・運搬)
該当なし

(17) (枯損樹木等の植替え)
該当なし

(18) (その他施工関係)
該当なし

(19) (現場発生品)

19-01 現場発生品のうち鉄屑は、スクラップ処理を想定しているが、それ以外の処理になる場合は監督員の確認を得ること。

(20) (支給材料及び貸与品)
該当なし

(21) (跡請保証)
該当なし

(22) (使用材料の材質・規格)

22-01 使用材料の材質・規格 (生コンクリート等)

種類 配合別	公示 内容	設計基準 強度 (N/mm ²)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	スランブ (cm)	空気量 (%)	最大水セメント 比の限度 (%)	最少単位 セメント量 (kg/m ³)	セメント 種類	構造物使用箇所
C-1		—	20又は25	8.0	4.5	—	—	混合B種	
RC-2-1		24	40	8.0	4.5	55	280	普通ポルトランド	

22-02 使用材料の材質・規格（再生骨材）

総則

- 1 本工事では、工作物の建設工事および解体工事（改修工事を含む）に伴って生じる、指定建設副産物のうちコンクリート塊の有効利用を図るために、コンクリート再生骨材を使用する。
- 2 コンクリート再生骨材に関する事項は、コンクリート再生骨材暫定品質基準に従うものとする。
- 3 施工計画書の提出時に「再生資源利用計画書」（様式1・イ、様式2・ロ）を添付すること。また、完成届の提出時には「再生資源利用実施書」（様式1、様式2）とともに、その内容を入力したファイルデータも提出すること。データは基本的にはFDまたはCDで監督員に提出することとするが、他媒体での提出指示があった場合は、それに従うものとする。
- 4 その他特に定めのない事項については、監督員の承認に基づき適正なコンクリート塊の再利用に努めること。

I 一般

- 1 コンクリート再生骨材の品質管理は、製造者の試験成績結果によること。確認の頻度は、製造施設毎に年2回以上とする。
移動式破砕機による現場内或いは一時保管施設において製造する再生骨材の品質は、その代表とするコンクリート塊により製造したもので試験を行い確認すること。
- 2 コンクリート再生骨材を路盤材料等に使用する場合は、基本的に100%で使用するものとする。
- 3 本特記仕様書で規定する以外については、「土木工事共通仕様書」（以下、共通仕様書）等の各種関連要領によるものとする。

(23) (三者検討会関係)

該当なし

(24) (電子データの提出)

24-01 1. 電子データ

電子データの対象書類は、施工計画書・工事写真・出来形図を基本とする。

対象書類	ファイル形式
施工計画書	PDF
工事写真	JPEGまたはPDF
出来形図	DWGまたはDXF及びPDF

2. 電子データ提出に伴う環境整備

受注者は、電子データ提出の実施に当たり、必要なハード環境及びソフト環境を保有すること。

3. 成果品

当該工事の電子データ対象書類は、電子媒体(CD-R等)により1部提出すること。

なお、電子媒体への格納方法については監督員と協議すること。

4. その他

電子データの提出に当たり疑義が生じた場合は、監督員と十分協議すること。

(25) (合理化調査関係)

該当なし

(26) (その他)

26-01 品質管理については全て北海道建設部土木工事共通仕様書(以下、仕様書)によるものとするが、以下の項目(仕様書より抜粋)については特に留意し管理すること。その他監督員からの指示があった場合はこの限りではない。

工種	種別	区分	試験項目	摘要	
道路土工	材料	必須	土の締固め試験		
			CBR試験(路床)		
	施工	必須	現場密度試験 または 飽和度の測定(粘性土) ブルーフローリング		
凍上抑制層	材料	必須	突き固めによる土の締固め試験		
	施工	必須	現場密度の測定		
		その他		球体落下試験	砂(溶融スラグ)に適用する
下層路盤	材料	必須	修正CBR試験		
			骨材のふるい分け試験		
			土の液性限界・塑性限界試験		
		その他		粗骨材のすりへり試験	再生クラッシュランに適用する
				骨材の洗い試験	
			硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験		
			凍上試験	再生骨材に適用する	
	施工	必須	現場密度の測定 ブルーフローリング		

(27) (請負業者へのお願い)

27-01 提出書類について

提出書類については、「室蘭市発注工事に関わる提出書類の手引き(土木編)」によるものとし、記載のない事項については、北海道建設部作成「土木工事共通仕様書」及び「提出書類のガイドライン」を参考の上、協議するものとする。

概数として扱う数量一覧表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
							工事名
橋梁下部		式		1			
構造物撤去工		式		1			
構造物取り壊し工		式		1			
コンクリート構造物取壊し	構造物区分：鉄筋構造物	m3		8		概数	
コンクリート構造物取壊し	構造物区分：無筋構造物	m3		130		概数	
運搬処理工		式		1			
殻運搬	殻種別：コンクリート殻（鉄筋）、運搬距離：13.7km	m3		8		概数	
殻運搬	殻種別：コンクリート殻（無筋）、運搬距離：13.7km	m3		135		概数	
殻運搬	殻種別：アスファルト殻、運搬距離：7.9km	m3		16		概数	
殻処分	殻種別：コンクリート殻（鉄筋）	m3		8		概数	
殻処分	殻種別：コンクリート殻（無筋）	m3		135		概数	
殻処分	殻種別：アスファルト殻（車道）	m3		16		概数	
殻処分	殻種別：汚泥（アスファルト切断排水）	m3		0.07		概数	

概数として扱う数量一覧表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	概要
工事名			当初		工事区分	
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事					橋梁下部	
現場発生品運搬	廃プラスチック類、運搬距離：17.5km	t		0.1		概数
殻処分	廃プラスチック	t		0.1		概数
仮設工		式		1		
工事用道路工		式		1		
現場発生品運搬	廃プラスチック類、運搬距離：17.5km	t		0.005		概数
殻処分	廃プラスチック	t		0.005		概数
仮水路工		式		1		
現場発生品運搬	廃プラスチック類、運搬距離：17.5km	t		0.3		概数
殻処分	廃プラスチック	t		0.3		概数

概数として扱う数量一覧表

	工事名	知利別川改修工事 [排水工]			当初	事業区分	河川改修
						工事区分	樋門・樋管
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
樋門・樋管		式		1			
構造物撤去工		式		1			
運搬処理工		式		1			
殻運搬	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)、運搬距離:13.7km	m3		0.6		概数	
殻処分	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)	m3		0.6		概数	
現場発生品運搬	発生材種類:グレーチング蓋型、運搬距離:4.1km	t		0.03		概数	
現場発生品運搬	発生材種類:波状管、運搬距離:17.5km	t		0.01		概数	
殻処分	廃プラスチック	t		0.01		概数	

位

置

☒

位 置 図

工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事																	
工事箇所	室蘭市知利別町3丁目																	
範囲	点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒	終点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒

※業務箇所の住所については業務起点の左側の住所としています。

※緯度経度については、世界測地系であり地理院地図を利用した簡易測定結果。



図面は上が北です



<凡例>

旗揚線

業務箇所

業務箇所

業務箇所塗り

・ 起点を示せる業務
(矢印の先が終点)



・ 起点を示せない業務
(区域を囲う)



表示情報（表示している情報は■）

□ 業務箇所・業務範囲

□ その他

備考

工 事 数 量 総 括 表

工事名 知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替（下部工）工事

室蘭市都市建設部土木課

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事				(当初)		道路新設・改築		
						橋梁下部		
橋梁下部		式		1				
道路土工		式		1				
残土処理工		式		1				
土砂等運搬	土質：土砂、運搬距離：3.5km 【ダンプトラック[オンロード ・ディーゼル] 10t積級 】【タイヤ損耗費 10t積級 良好 供用日】	m3		160		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1
残土等処分	【処分費 土砂：(株)ノースイ ンコンダクト】	m3		160		< 1 m3当たり > 残土等処分	m 3	1
橋台工 [A1橋台]		式		1				
作業土工		式		1				
(床掘り)	土質：土砂	(m3)		(160)		< 1 m3当たり > 床掘り	m 3	1
(埋戻し)	土質：土砂	(m3)		(80)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
(基面整正)		(m2)		(20)		< 1 m2当たり > 基面整正	m 2	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
既製杭工		式		1				
鋼管杭	規格：SKK400 (t=9mm)、径：600mm、長さ：7.5m 【鋼管ぐい [別途計上の為、単価0円]】 【生コンクリート混合B種 (A E 剤) RC-2-1 24-12-40 C=280kg】	本		4		< 1 本当たり > 鋼管・既製コンクリート杭打工 [中掘工] 鋼管杭 (材料費) 端部補強バンド取付 鋼管杭杭頭処理溶接工 鉄筋工市場単価 鉄筋工市場単価 吊り鉄板 (材料費) コンクリート 中詰材	本 kg kg m t t kg m ³ m ³	1 982.5 27 3.8 0.03 0.04 10.4 0.3 0.03
積込(ルーズ)	土質：土砂	m ³		10		< 1 m ³ 当たり > 積込 (ルーズ)	m ³	1
(現場取卸(鋼管杭))		(t)		4.1		< 1 t 当たり > 現場取卸 (鋼管杭)	t	1
橋台躯体工 [一次施工]		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
均しコンクリート	コンクリート配合記号：C-1、セメント種別：混合セメント（B種）、数厚：1m20cm 【生コンクリート 混合B種（AE剤） C-1 (-)-8-20(25)】			20		< 20 m2当たり > コンクリート	m 3	2
						型枠	m 2	2
コンクリート	コンクリート配合記号：RC-2-1、セメント種別：混合セメント（B種） 【生コンクリート 混合B種（AE剤） RC-2-1 24-12-40 C=280kg】	m3		35		< 1 m3当たり > コンクリート	m 3	1
鉄筋	鉄筋材料規格：SD345、径：D13	t		0.34		< 1 t当たり > 鉄筋工市場単価	t	1
鉄筋	鉄筋材料規格：SD345、径：D16～25	t		1.66		< 1 t当たり > 鉄筋工市場単価	t	1
(型枠)		(m2)		(53)		< 1 m2当たり > 型枠	m 2	1
(円筒型枠)	【円筒型枠 内径 150】	(m)		(4)		< 1 m当たり > 材料費(m)	m	1
(支保)	耐力区分：f 40kN/m2t 120cm	(空m3)		(2)		< 1 空m3当たり > パイプサポート支保・くさび結合支保	空 m 3	1
橋台工 [A2橋台]		式		1				
作業土工		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路新設・改築 橋梁下部		
						概要		
						現場条件	単位	数量
(床掘り)	土質：土砂	(m3)		(160)		< 1 m3当たり > 床掘り	m 3	1
(埋戻し)	土質：土砂	(m3)		(80)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
(基面整正)		(m2)		(20)		< 1 m2当たり > 基面整正	m 2	1
既製杭工		式		1				
鋼管杭	規格：SKK400 (t=9mm)、径：600mm、長さ：7.5m 【鋼管ぐい [別途計上の為、単価0円]】 【生コンクリート混合B種 (A E 剤) RC-2-1 24-12-40 C=280kg】	本		4		< 1 本当たり > 鋼管・既製コンクリート杭打工 [中掘工] 鋼管杭 (材料費) 端部補強バンド取付 鋼管杭杭頭処理溶接工 鉄筋工市場単価 鉄筋工市場単価 吊り鉄板 (材料費) コンクリート 中詰材	本 kg kg m t t kg m 3 m3	1 982.5 27 3.8 0.03 0.02 10.4 0.3 0.03

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事				(当初)	事業区分	道路新設・改築		
					工事区分	橋梁下部		
積込(ルーズ)	土質：土砂	m3		10		< 1 m3当たり > 積込(ルーズ)	m 3	1
(現場取卸(鋼管杭))		(t)		(4.1)		< 1 t当たり > 現場取卸(鋼管杭)	t	1
橋台躯体工 [一次施工]		式		1				
均しコンクリート	コンクリート配合記号：C-1、セメント種別：混合セメント(B種)、敷厚：1m20cm 【生コンクリート 混合B種(AE剤) C-1 (-)-8-20(25)】			20		< 20 m2当たり > コンクリート 型枠	m 3 m 2	2 2
コンクリート	コンクリート配合記号：RC-2-1、セメント種別：混合セメント(B種) 【生コンクリート 混合B種(AE剤) RC-2-1 24-12-40 C=280kg】	m3		36		< 1 m3当たり > コンクリート	m 3	1
鉄筋	鉄筋材料規格：SD345、径：D13	t		0.34		< 1 t当たり > 鉄筋工市場単価	t	1
鉄筋	鉄筋材料規格：SD345、径：D16~25	t		1.67		< 1 t当たり > 鉄筋工市場単価	t	1
(型枠)		(m2)		(55)		< 1 m2当たり > 型枠	m 2	1
(円筒型枠)	【円筒型枠 内径 150】	(m)		(3)		< 1 m当たり > 材料費(m)	m	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事 (当初) 事業区分: 道路新設・改築 工事区分: 橋梁下部								
(支保)	耐力区分: f 40kN/m ² t 120cm	(空m ³)		(2)		< 1 空m ³ 当たり > パイプサポート支保・くさび結合支保	空m ³	1
(足場)	種類: 手すり先行型枠組足場、安全ネット: 有り	(掛m ²)		(10)		< 1 掛m ² 当たり > 足場工	掛m ²	1
橋梁付属物工		式		1				
銘板工		式		1				
橋歴板	材質: 鋳物用銅合金地金、寸法: 300×200×13mm 【橋歴板 300×200×13mm JIS H2202 (鋳物用銅合金地金)】	枚		2		< 1 枚当たり > 橋名板等取付	枚	1
構造物撤去工		式		1				
排水構造物撤去工		式		1				
暗渠排水管撤去	管種別: 波状管、管径: 350mm	m		24		< 1 m当たり > 暗渠排水管	m	1
防護柵撤去工		式		1				
防護柵撤去工		m		10		< 1 m当たり > 防護柵撤去工(ガードレール撤去工)橋梁建込	m	1

工事数量総括表

工事区分・工程・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事 (当初) 事業区分: 道路新設・改築 工事区分: 橋梁下部								
鋼製高欄撤去		m		102		< 1 m当たり > 防護柵(横断・転落防止柵)撤去工	m	1
作業土工		式		1				
(埋戻し)		(m3)		(440)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
構造物取り壊し工		式		1				
舗装板切断		m		59		< 1 m当たり > 舗装板切断	m	1
舗装版破砕	舗装版種別: アスファルト、舗装版厚: 5cm	m2		350		< 100 m2当たり > アスファルト舗装版破砕・積込み	m 3	5
床版破砕及び撤去	【ダイヤモンドビット 110mm スタンダード コンクリート穿孔機用】【チューブ 外径110mm[2誌平均単価4月号]】【アダプター 外径110mm[2誌平均単価4月号]】	式		1		< 1 式当たり > コアリング工法による削孔 床版カット工法による部材切断 床版ブロック撤去 構造物とりこわし	m m m2 m 3	2 9 21 5
コンクリート構造物取壊し	構造物区分: 鉄筋構造物	m3		8		< 1 m3当たり > 構造物とりこわし	m 3	1
コンクリート構造物取壊し	構造物区分: 無筋構造物	m3		130		< 1 m3当たり > 構造物とりこわし	m 3	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路新設・改築		
						橋梁下部		
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事						概要		
(当初)						現場条件	単位	数量
縁石撤去	導水縁石	m		74		< 1 m当たり > 歩車道境界ブロック撤去	m	1
縁石撤去	植樹柵縁石	m		57		< 1 m当たり > 地先境界ブロック撤去	m	1
運搬処理工		式		1				
殻運搬	殻種別：コンクリート殻(鉄筋)、運搬距離：13.7km 【ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級】 【タイヤ損耗費 10t積級良好 供用日】	m3		8		< 1 m3当たり > 殻運搬	m3	1
殻運搬	殻種別：コンクリート殻(無筋)、運搬距離：13.7km 【ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級】 【タイヤ損耗費 10t積級良好 供用日】	m3		135		< 1 m3当たり > 殻運搬	m3	1
殻運搬	殻種別：アスファルト殻、運搬距離：7.9km 【ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級】 【タイヤ損耗費 10t積級良好 供用日】	m3		16		< 1 m3当たり > 殻運搬	m3	1
殻処分	殻種別：コンクリート殻(鉄筋) 【処分費 鉄筋Co:(株)草塩建設】	m3		8		< 100 m3当たり > 処分費(t)	t	250
殻処分	殻種別：コンクリート殻(無筋) 【処分費 無筋Co:(株)草塩建設】	m3		135		< 100 m3当たり > 処分費(t)	t	235

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路新設・改築		
						橋梁下部		
						概要		
						現場条件	単位	数量
殻処分	殻種別：アスファルト殻（車道） 【処分費 As殻：イブリアスコ ン共同企業体】	m3		16		< 100 m3当たり > 処分費（t）	t	230
殻処分	殻種別：汚泥（アスファルト切断排水） 【処分費 汚泥：(株)ダテックス】	m3		0.07		< 100 m3当たり > 処分費（t）	t	110
現場発生品運搬	発生材種類：旧橋防護柵・既設 転落防止柵、運搬距離：8.9km	t		1		< 1 t当たり > 現場発生品及び支給品運搬 現場発生品及び支給品積込・荷卸	t t	1 1
現場発生品運搬	廃プラスチック類、運搬距離：17.5km	t		0.1		< 1 t当たり > 現場発生品及び支給品運搬 現場発生品及び支給品積込・荷卸	t t	1 1
(殻処分)	廃プラスチック 【処分費 廃プラスチック：(株)アール・アンド・イー】	(t)		0.1		< 1 t当たり > 処分費（t）	t	1
河川土工		式		1				
掘削工 [残土]		式		1				
掘削	土質：土砂	m3		840		< 1 m3当たり > 掘削	m3	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事 (当初) 事業区分: 道路新設・改築 工事区分: 橋梁下部								
土砂等運搬	土質:土砂、運搬距離:3.5km 【ダンプトラック[オンロード ・ディーゼル] 10t積級 】【タイヤ損耗費 10t積級 良好 供用日】	m3		860		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1
残土等処分	【処分費 土砂:(株)ノースイ ンコンダクト】	m3		860		< 1 m3当たり > 残土等処分	m 3	1
法面整形工		式		1				
法面整形(切土部)	土質:土砂	m2		370		< 1 m2当たり > 法面整形	m 2	1
法覆護岸工		式		1				
作業土工		式		1				
(床掘り)	土質:土砂	(m3)		(120)		< 1 m3当たり > 床掘り	m 3	1
(埋戻し)	土質:土砂	(m3)		(80)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
コンクリートブロック工(連節ブロック張)		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路新設・改築		
						橋梁下部		
						概要		
						現場条件	単位	数量
連節ブロック張	m2当り質量：340kg/m2、シート種類：河川護岸用吸出し防止シート【連節ブロック 150kg/枚未満 340kg/m2】【土木安定シート 河川護岸用吸出し防止シート フェルト系 厚さ10mm以上 引張強度9.8kN/m以上】	m2		371		< 1 m2当たり > 連節ブロック張	m2	1
護岸付属物工		式		1				
止杭	杭種：SD345、径：D13mm、長さ：1.8m	本		30		< 1 本当たり > 止杭設置 材料費(本)	本 本	1 1
目地板	種類：樹脂発泡体、規格：厚さ10mm・0.10g/cm3以上級【樹脂発泡体目地板 厚10mm 1.5倍】	m2		2		< 1 m2当たり > 目地板	m2	1
沓かくし	規格：幅30cm、高さ40cm	m		2		< 1 m当たり > プレキャスト巻止ブロック プレキャスト巻止ブロック(材料費)	m m	1 1
沓かくし	規格：幅30cm、高さ30cm	m		5		< 1 m当たり > プレキャスト巻止ブロック プレキャスト巻止ブロック(材料費)	m m	1 1
多自然護岸工		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事 (当初) 事業区分: 道路新設・改築 工事区分: 橋梁下部								
かごマット(スロープ型)	かご厚さ: 50cm、詰石種類: ｺｸﾘｰﾄ殻 【かごマット 平張式 厚さ50cm 本体 100-4-6 上蓋 65-5-6 曲率5%以内】 【骨材 割栗石 15 ~ 25cm じゃかご・ふとんかご中詰用】	m2		24		< 100 m2当たり > かごマット設置(スロープ型)	m2	100
仮設工		式		1				
工事用道路工		式		1				
(工事用道路盛土 [流用土])		(m3)		(8)		< 1 m3当たり > 路体(築堤)盛土	m 3	1
(仮設舗装)	路盤材料種類: 切込砕石、路盤材規格: 0~40mm級、仕上り厚: 30cm 【骨材 切込砕石 0 ~ 40mm】	(m2)		(48)		< 1 m2当たり > 下層路盤(車道・路肩部)	m 2	1
(土のう [小型土のう])	作業区分: 仕持・積立・撤去 【流用土 単価0円】	(袋)		(108)		< 1 袋当たり > 土のう工	袋	1
現場発生品運搬	廃プラスチック類、運搬距離: 17.5km	t		0.005		< 1 t当たり > 現場発生品及び支給品運搬 現場発生品及び支給品積込・荷卸	t t	1 1
(処処分)	廃プラスチック 【処分費 廃プラスチック:(株)アール・アンド・イー】	(t)		(0.005)		< 1 t当たり > 処分費(t)	t	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事 (当初)						事業区分 道路新設・改築 工事区分 橋梁下部		
工事用道路撤去工		式		1				
道路掘削		m3		8		< 1 m3当たり > 掘削	m 3	1
路盤工撤去		m3		14		< 1 m3当たり > 掘削	m 3	1
土留・仮締切工		式		1				
ふとんかご	スロープ式 【ふとんかご パネルタイプ 3m .2 13×50×120cm】 【骨材 割栗石 15～25cm じゃか ご・ふとんかご中詰用】			8		< 1 m当たり > ふとんかご	m	1
仮橋・仮栈橋工		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
(橋脚) 【ヘビーH1 2誌平均単価4月号】 【敷鉄板賃料 22×15(式) 24×6096 90日以内 173kg/m ² リ-置場渡し】						< 1 式当たり >		
				(1)		橋脚設置・撤去工 (直接基礎形式)	t	3.5
						橋脚設置・撤去工 (直接基礎形式)	t	3.5
						鋼矢板・H形鋼 (一部または全体を撤去)	t	1.3
						鋼矢板・H形鋼 (一部または全体を撤去)	t	2
						材料費 (t)	t	0.1
						材料費 (t)	t	0.03
						材料費 (t)	t	0.04
						現場発生品及び支給品運搬	t	0.17
						現場発生品及び支給品積込・荷卸	t	0.17
						処分費 (t)	t	-0.17
						敷鉄板設置・撤去	m ²	19
						敷鉄板賃料	枚	2

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事 (当初) 事業区分: 道路新設・改築 工事区分: 橋梁下部								
(仮橋上部)	【ヘビーH1 2誌平均単価4月号】	(式)		(1)		< 1 式当たり > 上部工架設・撤去工	t	6
						上部工架設・撤去工	t	6
						鋼矢板・H形鋼 (一部または全体を撤去)	t	5.5
						材料費(t)	t	0.4
						材料費(t)	t	0.04
						材料費(t)	t	0.1
						現場発生品及び支給品運搬	t	0.54
						現場発生品及び支給品積込・荷卸	t	0.54
						処分費(t)	t	-0.54
(覆工板設置・撤去[仮橋・仮 栈橋])	【覆工板 賃料 鋼製(補強型) 90日(3カ月)以内[2誌平均単価4 月号]】			(48)		< 1 m2当たり > 覆工板設置・撤去工	m 2	1
						覆工板設置・撤去工	m 2	1
						覆工板賃料	m 2	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	道路新設・改築 橋梁下部		
						概要		
						現場条件	単位	数量
(仮設高欄)	【ヘビーH1 2誌平均単価4月号】	(式)		(1)		< 1 式当たり > 高欄設置・撤去工	m	16
						高欄設置・撤去工	m	16
						高欄賃料及び基本料	m	48
						高欄賃料及び基本料	m	14
						高欄賃料及び基本料	個	30
						材料費	個	10
						材料費(t)	t	0.005
						現場発生品及び支給品運搬	t	0.02
						現場発生品及び支給品積込・荷卸	t	0.02
						処分費(t)	t	-0.02
水替工		式		1				
(ポンプ排水)	排水量：0～40m ³ /h、排水区分：作業時排水	(日)		(8)		< 1 日当たり > ポンプ運転	日	1
(ポンプ排水)	排水量：0～40m ³ /h、排水区分：常時排水	(日)		(6)		< 1 日当たり > ポンプ運転	日	1
(ポンプ設置・撤去)		(箇所)		(2)		< 1 箇所当たり > ポンプ設置・撤去	箇所	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事 (当初) 事業区分: 道路新設・改築 工事区分: 橋梁下部								
仮水路工		式		1				
(埋戻し [土のう背面])		(m3)		(160)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
(暗渠排水管)	管種別: 高密度ポリエチレン管、管径: 500mm 【排水用ルキツパイ 高密度ポリエチレン管 呼径500 ダブル無孔管 [建設物価4月号] 】	(m)		(11)		< 1 m当たり > 暗渠排水管	m	1
(掘削)		(m3)		(2,900)		< 1 m3当たり > 掘削	m 3	1
(土のう [大型土のう])	作業区分: 製作・設置 【耐候性大型土のう 110×110cm 短期仮設対応(1年)型 2t用】	(袋)		(476)		< 1 袋当たり > 大型土のう工	袋	1
(土のう [大型土のう])	作業区分: 設置(移設)	(袋)		(248)		< 1 袋当たり > 大型土のう工	袋	1
(土のう [大型土のう])	作業区分: 撤去、運搬距離: 3.5km(搬出)	(袋)		(114)		< 1 袋当たり > 大型土のう工	袋	1
土砂等運搬	土質: 土砂、運搬距離: 3.5km 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t 積級】 【タイヤ損耗費 10t 積級 良好 供用日】	m3		1,880		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1
残土等処分	【処分費 土砂: (株)ノースインコンダクト】	m3		1,880		< 1 m3当たり > 残土等処分	m 3	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事 (当初) 事業区分: 道路新設・改築 工事区分: 橋梁下部								
現場発生品運搬	廃プラスチック類、運搬距離: 17.5km	t		0.3		< 1 t当たり > 現場発生品及び支給品運搬	t	1
						現場発生品及び支給品積込・荷卸	t	1
(殻処分)	廃プラスチック 【処分費 廃プラスチック:(株)アール・アンド・イー】	(t)		(0.3)		< 1 t当たり > 処分費(t)	t	1
交通管理工		式		1				
(交通誘導警備員 [A])		(人日)		(73)		< 1 人日当たり > 交通誘導警備員A	人日	1
(交通誘導警備員 [B])		(人日)		(73)		< 1 人日当たり > 交通誘導警備員B	人日	1
直接工事費		式		1				
共通仮設		式		1				
共通仮設費		式		1				
運搬費		式		1				
(重建設機械分解組立費)	機種・規格: 加ラクレン 50~55t吊	(回)		(1)		< 1 回当たり > 重建設機械分解組立	回	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	河川改修		
						事業区分	工事区分	共通仮設費
						摘要		
						現場条件	単位	数量
(重建設機械分解組立費)	機種・規格：ｸｰﾗ式杭 打機・ｱｰｽｰｶﾞ 中掘式5 5kW	(回)		(1)		< 1 回当たり > 重建設機械分解組立	回	1
(重建設機械分解組立輸送費)	機種・規格：ｸｰﾗｰﾝ50～55t 吊	(回)		(1)		< 1 回当たり > 重建設機械分解組立輸送	回	1
(重建設機械分解組立輸送費)	機種・規格：ｸｰﾗ式杭打機・ｱｰｽｰｶﾞ 中掘式55kW	(回)		(1)		< 1 回当たり > 重建設機械分解組立輸送	回	1
(仮設材運搬費 [鋼矢板 型・H鋼・覆工板])	運搬距離：87.4km 【積込み荷卸し費(仮設材等) 】	(t)		(17.6)		< 1 t当たり > 仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 仮設材等の積込み取卸し費	t t	2 1
(仮設材運搬費 [敷鉄板])	運搬距離：9.6km 【積込み荷卸し費(仮設材等) 】	(t)		(3.2)		< 1 t当たり > 仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等) 仮設材等の積込み取卸し費	t t	2 1
現場環境改善費(率計上)		式		1				
共通仮設費(率計上)		式		1				
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1				

工事数量総括表

		工事名	知利別川改修工事に伴う知利別3丁目1条橋架替(下部工)工事		(当 初)	事業区分	河川改修		
						工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要	
								現場条件	単位
工事原価				式		1			
一般管理費等				式		1			
工事価格				式		1			
消費税相当額				式		1			
工事費計				式		1			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
樋門・樋管		式		1				
河川土工		式		1				
残土処理工		式		1				
土砂等運搬	土質：土砂、運搬距離：3.5km 【ダンプトラック[オンロード ・ディーゼル] 10 t 積級 】【タイヤ損耗費 10 t 積級 良好 供用日 】	m3		20		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1
残土等処分	【処分費 土砂：(株)ノースイ ンコンダクト 】	m3		20		< 1 m3当たり > 残土等処分	m 3	1
排水工		式		1				
作業土工		式		1				
(床掘り [2m W])	土質：土砂	(m3)		(100)		< 1 m3当たり > 床掘り	m 3	1
(埋戻し [4m W1])	土質：土砂	(m3)		(30)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
(埋戻し [1m W1<4m])	土質：土砂	(m3)		(40)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	河川改修		
						事業区分	工事区分	橋門・樋管
						摘要		
						現場条件	単位	数量
(埋戻し [1m W1<4m])		(m3)		(4)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
(基面整正)		(m2)		(10)		< 1 m2当たり > 基面整正	m 2	1
矢板工		式		1				
広幅鋼矢板	広幅鋼矢板規格：SYW295、型式： w型、長さ：2.1m	枚		3		< 1 枚当たり > 広幅鋼矢板 鋼矢板工(パツク刺装着式 油圧パイクバルブ)	kg 枚	130 1
本体工		式		1				
基床材 [流用土]		m3		4		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1
均しコンクリート	コンクリート配合記号：C-1、セメント種別：混合セメント(B種)、敷厚：1m20cm 【生コンクリート 混合B種(AE剤) C-1 (-)-8-20(25)】			13		< 13 m2当たり > コンクリート 型枠	m 3 m 2	1 3
コンクリート	コンクリート配合記号：RC-2-1、セメント種別：混合セメント(B種) 【生コンクリート 混合B種(AE剤) RC-2-1 24-12-40 C=280kg】	m3		11		< 1 m3当たり > コンクリート(場所打函渠)	m 3	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
ダクタイル鋳鉄管	種類：マルチライニング K形3種、径：600mm m			4		< 4 m当たり > ダクタイル鋳鉄管設置 ダクタイル鋳鉄管	m 本	4 1
鉄筋	鉄筋材料規格：SD345、径：D13 t			0.68		< 1 t当たり > 鉄筋工市場単価	t	1
鉄筋	鉄筋材料規格：SD345、径：D16 ~25 t			0.06		< 1 t当たり > 鉄筋工市場単価	t	1
目地板	種類：樹脂発泡体、規格：厚さ20mm・0.1g/cm3以上級 【樹脂発泡体目地板 厚20mm m 8倍】 m2			4		< 1 m2当たり > 目地板	m2	1
止水板	種類：ゴム伸縮止水板、寸法：耐震用280B m 【ゴム伸縮止水板 耐震用280B】 【ゴム伸縮止水板加工費 280Bコーナー加工(90°)】			11		< 11 m当たり > 止水板 材料費(個)	m 個	11 6
(型枠)		(m2)		(45)		< 1 m2当たり > 型枠(鉄筋構造)〔省力化構造〕	m2	1
付属物設置工		式		1				
銘板工		式		1				
銘板	材質：ステンレス製、寸法：350×240×20mm 枚			1		< 1 枚当たり > 堤名板等設置	枚	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	河川改修		
						橋門・樋管		
知利別川改修工事 [排水工]						事業区分		
(当初)						工事区分		
						概要		
						現場条件	単位	数量
点検施設工		式		1				
ステップ	寸法：幅400mm、径：19mm	本		4		< 1 本当たり > タラップ設置	個	1
蓋	蓋種類：グレーチング蓋 【グレーチング蓋 325×700×90 】【グレーチング蓋 748×700×90 】	枚		1		< 1 枚当たり > 蓋版 受枠 H90用 蓋版 受枠 H90用	枚 組 枚 組	1 1 1 1
観測施設工		式		1				
量水標	材質：アルミ製	箇所		2		< 2 箇所当たり > 量水標設置	m	3
排水構造物工		式		1				
管渠工		式		1				
暗渠排水管	管種別：波状管、管径：300mm 【合成樹脂管 波状管 300mm 無孔管 内面平滑 耐圧強度4200N/m以上 長さ 5m/本 °ポリウム管】	m		2		< 1 m当たり > 暗渠排水管	m	1

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	河川改修		
						事業区分	工事区分	橋門・樋管
						摘要		
						現場条件	単位	数量
構造物撤去工		式		1				
構造物取壊し工		式		1				
コンクリート構造物取壊し	構造物区分：鉄筋構造物	m3		0.6		< 1 m3当たり > 構造物とりこわし	m 3	1
排水構造物撤去工		式		1				
暗渠排水管撤去 [処分]	管種別：波状管、管径：300mm	m		1		< 1 m当たり > 暗渠排水管	m	1
蓋版撤去 [処分]	蓋種類：集水樹 型A用	枚		1		< 1 枚当たり > 蓋版	枚	1
運搬処理工		式		1				
殻運搬	殻種別：コンクリート殻(鉄筋)、運搬距離：13.7km 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10 t 積級】 【タイヤ損耗費 10 t 積級 良好 供用日 】	m3		0.6		< 1 m3当たり > 殻運搬	m 3	1
殻処分	殻種別：コンクリート殻(鉄筋) 【処分費 鉄筋Co：(株)草塩建設】	m3		0.6		< 100 m3当たり > 処分費 (t)	t	250

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	河川改修 樋門・樋管		
						概要		
						現場条件	単位	数量
現場発生品運搬	発生材種類：グレーチング蓋型、 運搬距離：4.1km 【ヘビーH1 2誌平均単価4月号 】	t		0.03		< 1 t当たり > 現場発生品及び支給品運搬 現場発生品及び支給品積込・荷卸 処分費(t)	t	1 1 -1
現場発生品運搬	発生材種類：波状管、運搬距離 ：17.5km	t		0.01		< 1 t当たり > 現場発生品及び支給品運搬 現場発生品及び支給品積込・荷卸	t	1 1
殻処分	廃プラスチック 【処分費 廃プラスチック：(t 株)アール・アンド・イー】	t		0.01		< 1 t当たり > 処分費(t)	t	1
仮設工		式		1				
水替工		式		1				
(ポンプ排水)	排水量：0～40m ³ /h、排水区分 ：作業時排水	(日)		(1)		< 1 日当たり > ポンプ運転	日	1
(ポンプ排水)	排水量：0～40m ³ /h、排水区分 ：常時排水	(日)		(2)		< 1 日当たり > ポンプ運転	日	1
(ポンプ設置・撤去)		(箇所)		(1)		< 1 箇所当たり > ポンプ設置・撤去	箇所	1
直接工事費		式		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	(当 初) 数量(今回)	事業区分 工事区分 数量の増減	河川改修 共通仮設費		
						摘要		
						現場条件	単位	数量
共通仮設		式		1				
共通仮設費		式		1				
現場環境改善費(率計上)		式		1				
共通仮設費(率計上)		式		1				
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1				
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1				